



「仲間あつての
弓道です」

沼野 智恵さん

(土浦二高3年 藤沢)

校舎から少し離れた、歴史ある道場から美しい弦音と、矢が的を射る「バーン」という快音が響く...

弓道は28m先に置かれた的に、矢が何本当たったかを競う日本古来の武道。ただし、的中がすべてではなく、正しい射・形のきれいな射が求められ、奥が深い。また弓道は精神状態によっても射が変わってしまうと言われるほど、精神面での修行も必要なスポーツである。

沼野さんは、高校入学時に見学した弓道の格好良さと静の美にひかれ、迷わず入部。部内の和やかな雰囲気との楽しさが彼女を成長させ、現在は弓道二段の腕を持つまでに。彼女の形作る不動の会心を引き出している姿勢から放たれる力強い射は、周囲からも評価が高い。

そんな彼女でも調子が上がらないときには、ビデオに撮って研究したり、先生や先輩からの指導を受けるほか仲間同士で教えあい、納得のいく射を作り上げる努力を重ねた。その成果が実り、この6月、みごと県大会で初優勝、8月の全国高校総体への切符を勝ち取った。

「弓道は精神との戦いでもあり、試合前は『いつも通りに』と自身に言い聞かせます。また、私にとって無くてはならないもの、それはともに歩み支えあってきた仲間と、その声援。仲間がいたから今の私があります」と誇らしげに話す。高校最後の試合となる全国高校総体では、自分の力を出し切り、胸を張って帰ってくるという意気込みがしっかりと伝わってきた。



菅谷小6年

深谷実生さん



菅谷小5年

菅原 綾さん



子ども作品展



「ふしぎなラッパ」

菅谷小5年

宮嶋光太さん



「なつの
なかまたち」

菅谷小2年

岡野亜美さん

